



令和2年3月16日

各 位

会 社 名 天馬株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤野 兼人
(コード：7958、東証第一部)
問合せ先 取締役財務経理部長 須藤 隆志
(TEL. 03-3598-5515)

(訂正)「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成29年8月4日に発表いたしました「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(令和2年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 天馬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7958 URL <http://www.tenmacorp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤野 兼人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 須藤 隆志 TEL 03-3598-5515
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	18,868	△1.2	811	△31.1	1,208	△1.0	911	△8.1
29年3月期第1四半期	19,094	△4.0	1,177	△0.7	1,219	△24.7	991	△29.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 164百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △1,447百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	37.76	—
29年3月期第1四半期	41.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	89,576	74,412	83.1	3,083.81
29年3月期	90,248	74,731	82.8	3,097.03

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 74,412百万円 29年3月期 74,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,600	0.1	1,800	△15.5	2,300	8.8	1,700	0.3	70.45
通期	78,000	2.9	4,200	△4.8	5,000	4.3	3,900	4.9	161.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期1Q	27,813,026株	29年3月期	27,813,026株
30年3月期1Q	3,683,237株	29年3月期	3,683,072株
30年3月期1Q	24,129,884株	29年3月期1Q	24,130,440株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(修正再表示)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)における世界経済は、米国においては政権運営に不確実性があるものの、企業収益の改善等を背景に堅調に推移しました。欧州では製造業での改善が進み緩やかな景気回復が持続しました。中国ではインフラ投資の拡大や輸出の持ち直しが見られ、個人消費も回復の兆しがありました。

また、わが国経済は、企業の生産活動や輸出の持ち直しが継続するなか、雇用環境の改善が進みましたが、消費者の節約志向は根強く、個人消費は力強さに欠けた状況が続いております。

このような状況の中、工業品合成樹脂製品分野は、中国から東南アジアへ取引先の生産がシフトするなか、東南アジアでの旺盛な需要を確実に取り込むことにより売上が増加しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野は、中国では堅調に推移しましたが、国内では伸び悩みました。なお、前年同期比では円高の影響を受け、海外子会社の円換算額が縮小しました。

この結果、売上高は188億68百万円(前年同期比98.8%)となり、営業利益は8億11百万円(前年同期比68.9%)、経常利益は投資有価証券売却益の計上等により12億8百万円(前年同期比99.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億11百万円(前年同期比91.9%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、好調を維持する「プロフィックス カバコ」のアイテム拡大や「華麗なハンガーシリーズ」をはじめとする新商品の市場投入等により拡販に注力しましたが、力強さに欠ける個人消費の影響等を受けるとともに、原材料価格上昇の影響も受け足踏みを余儀なくされました。工業品合成樹脂製品分野は、取引先の生産海外シフトに起因し、電機電子等の受注が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は、57億82百万円(前年同期比96.4%)となり、セグメント利益(営業利益)は3億92百万円(前年同期比53.0%)となりました。

(中国)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、従来から販売をしている上海天馬精塑有限公司に加え、天馬精密工業(中山)有限公司においても販売を開始し好調に推移しましたが、工業品合成樹脂製品分野において、取引先の生産が東南アジアへシフトするなか、天馬精密注塑(深セン)有限公司を中心に売上減少を余儀なくされました。

この結果、当セグメントの売上高は、56億88百万円(前年同期比85.2%)となり、セグメント利益(営業利益)は3億13百万円(前年同期比89.0%)となりました。

(東南アジア)

工業品合成樹脂製品分野において、ベトナムでの受注が好調に推移し、TENMA VIETNAM CO., LTD.を中心に売上が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は、73億98百万円(前年同期比115.2%)となり、セグメント利益(営業利益)は4億24百万円(前年同期比128.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億72百万円減少し、895億76百万円となりました。これは、現金及び預金が9億79百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が7億20百万円、機械装置及び運搬具(純額)が3億94百万円、建物及び構築物(純額)が3億17百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億53百万円減少し、151億64百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億80百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億19百万円減少し、744億12百万円となりました。これは、利益剰余金が4億29百万円、その他有価証券評価差額金が1億95百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が9億41百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定の範囲内で進捗しておりますので、平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,824,370	34,803,692
受取手形及び売掛金	15,444,999	14,724,790
商品及び製品	2,668,386	2,878,025
仕掛品	488,251	480,408
原材料及び貯蔵品	3,200,007	3,296,283
繰延税金資産	214,382	227,511
その他	1,603,324	1,476,056
貸倒引当金	△4,306	△2,523
流動資産合計	57,439,413	57,884,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,698,668	9,381,716
機械装置及び運搬具(純額)	9,672,319	9,278,462
その他	3,292,668	3,225,618
有形固定資産合計	22,663,656	21,885,796
無形固定資産	3,054,047	2,936,206
投資その他の資産		
投資有価証券	5,760,809	5,594,799
退職給付に係る資産	983,868	989,689
繰延税金資産	3,182	3,078
その他	353,342	292,325
貸倒引当金	△10,627	△10,458
投資その他の資産合計	7,090,574	6,869,432
固定資産合計	32,808,277	31,691,434
資産合計	90,247,689	89,575,676
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,314,432	9,034,218
未払法人税等	529,778	602,541
賞与引当金	905,412	819,291
租税関連費用引当金	148,435	144,135
その他	2,987,880	3,016,616
流動負債合計	13,885,937	13,616,802
固定負債		
役員退職慰労引当金	242,579	—
退職給付に係る負債	260,523	266,109
資産除去債務	39,738	38,227
繰延税金負債	1,087,624	985,984
長期末払金	—	256,695
固定負債合計	1,630,465	1,547,016
負債合計	15,516,401	15,163,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	37,380,965	37,809,580
自己株式	△5,343,873	△5,344,211
株主資本合計	70,186,942	70,615,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,711,945	1,906,728
為替換算調整勘定	2,515,608	1,574,538
退職給付に係る調整累計額	316,681	315,268
その他の包括利益累計額合計	4,544,233	3,796,535
非支配株主持分	113	105
純資産合計	74,731,288	74,411,858
負債純資産合計	90,247,689	89,575,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	19,093,926	18,867,985
売上原価	15,304,472	15,324,228
売上総利益	3,789,454	3,543,756
販売費及び一般管理費	2,612,362	2,732,723
営業利益	1,177,092	811,033
営業外収益		
受取利息	62,115	44,708
受取配当金	83,763	70,613
投資有価証券売却益	—	387,600
その他	26,708	22,841
営業外収益合計	172,587	525,762
営業外費用		
売上割引	23,391	21,155
開業費償却	12,185	96,770
為替差損	93,688	9,116
その他	1,050	2,069
営業外費用合計	130,314	129,110
経常利益	1,219,365	1,207,685
特別利益		
固定資産売却益	7,819	50,929
特別利益合計	7,819	50,929
特別損失		
固定資産売却損	—	80
固定資産除却損	645	64
特別損失合計	645	144
税金等調整前四半期純利益	1,226,539	1,258,470
法人税等	235,043	347,260
四半期純利益	991,496	911,210
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	991,498	911,214

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	991,496	911,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△510,309	194,784
為替換算調整勘定	△1,932,218	△941,073
退職給付に係る調整額	3,562	△1,412
その他の包括利益合計	△2,438,965	△747,702
四半期包括利益	△1,447,469	163,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,447,461	163,516
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、令和2年3月13日付にて第三者委員会から調査報告書を受領し、当社の海外子会社において税務調査等に関連して外国公務員に対する複数の金銭交付あるいはその疑いのある行為が行われていた旨の調査結果が報告されました。当社としては、現在、当該調査結果について検証を行っておりますが、今後速やかに関係機関と連携してその是正措置に取り組んでいく所存です。当該事案に関して、今後、当社に制裁金が科されるおそれがありますが、関連する法的手続は多くの不確実性及び複雑な要素を含んでおり、現時点でその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、四半期連結財務諸表には反映していません。また、海外子会社の所在地国においても現地において類似の制裁金が科されるおそれがありますが、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、四半期連結財務諸表には反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,000,406	6,672,959	6,420,560	19,093,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,472	33,022	7,049	67,542
計	6,027,879	6,705,980	6,427,609	19,161,468
セグメント利益	739,589	352,055	329,467	1,421,111

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,421,111
セグメント間取引消去	278
全社費用(注)	△244,297
四半期連結損益計算書の営業利益	1,177,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,781,917	5,687,664	7,398,404	18,867,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,336	40,712	268	70,317
計	5,811,253	5,728,376	7,398,672	18,938,301
セグメント利益	391,640	313,157	423,952	1,128,749

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,128,749
セグメント間取引消去	△2,489
全社費用(注)	△315,227
四半期連結損益計算書の営業利益	811,033

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。